

事業概要

E13

東北中央道

南陽高畠IC
↔ 山形上山IC

東北中央道は福島県相馬市を起点とし、福島市・米沢市・山形市・新庄市などを経由して、秋田県横手市で秋田道に連結する総延長約268kmの高規格幹線道路です。

この路線は、福島県・山形県・秋田県の内陸部の主要都市を結ぶとともに、常磐道・東北道・山形道・秋田道と接続することから、南東北における高規格幹線道路網を形成し、地域間交流はもとより緊急時における代替及び迂回等のネットワーク機能の強化を担う路線です。

今回、南陽高畠ICから山形上山ICまでの24.4kmの開通により、東北中央道が東北道から山形道までつながります。

開通区間概要

区間: 自)南陽高畠IC
[山形県東置賜郡高畠町大字深沼]
至)山形上山IC
[山形県上山市金瓶]

休憩施設: 1箇所[南陽PA(商業施設なし)]

車線数: 暫定2車線

山形PAの概要

設置区間: 山形上山IC～山形中央IC

施設概要: 商業施設なし



整備効果①

国道13号の渋滞緩和と代替路確保

南陽高畠IC
↔ 山形上山IC

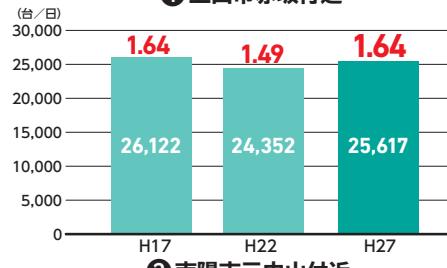
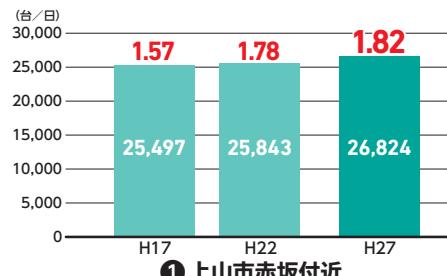


東北中央道の
整備による
渋滞緩和と安定した
交通路の確保

- 東北中央道と並行する国道13号は、平日の混雑度が1.64~1.82と非常に高く、東北中央道の整備により交通転換が図られることで渋滞の緩和が期待されます。
- 国道13号の周辺には災害や事故、降雪等による通行障害時に信頼性の高い代替路がないことから、東北中央道の整備により、安定した交通路の確保が期待されます。

国道13号の平日混雑度

国道13号は、H27道路センサスでは、平日24h交通量約26,200台／日、平日混雑度は1.64~1.82



■ 平日24時間交通量 ◎赤数字は平日混雑度
※混雑度とは…1.0を基準とする交通容量に対する交通量の比。

国道13号と周辺道路 (県道5号・県道13号)



地域の声 〈道路管理関連職員〉

国道13号が事故や降雪等で通行止めとなった場合は、代替えとなる県道が無いため、県民の生活に大きな影響となっていました。さらに南陽市から山形市間は、慢性的に渋滞が発生しており、東北中央道の開通により、国道13号の渋滞解消が期待され、道路利用者の利便性が大幅に向上すると予測されます。

整備効果②

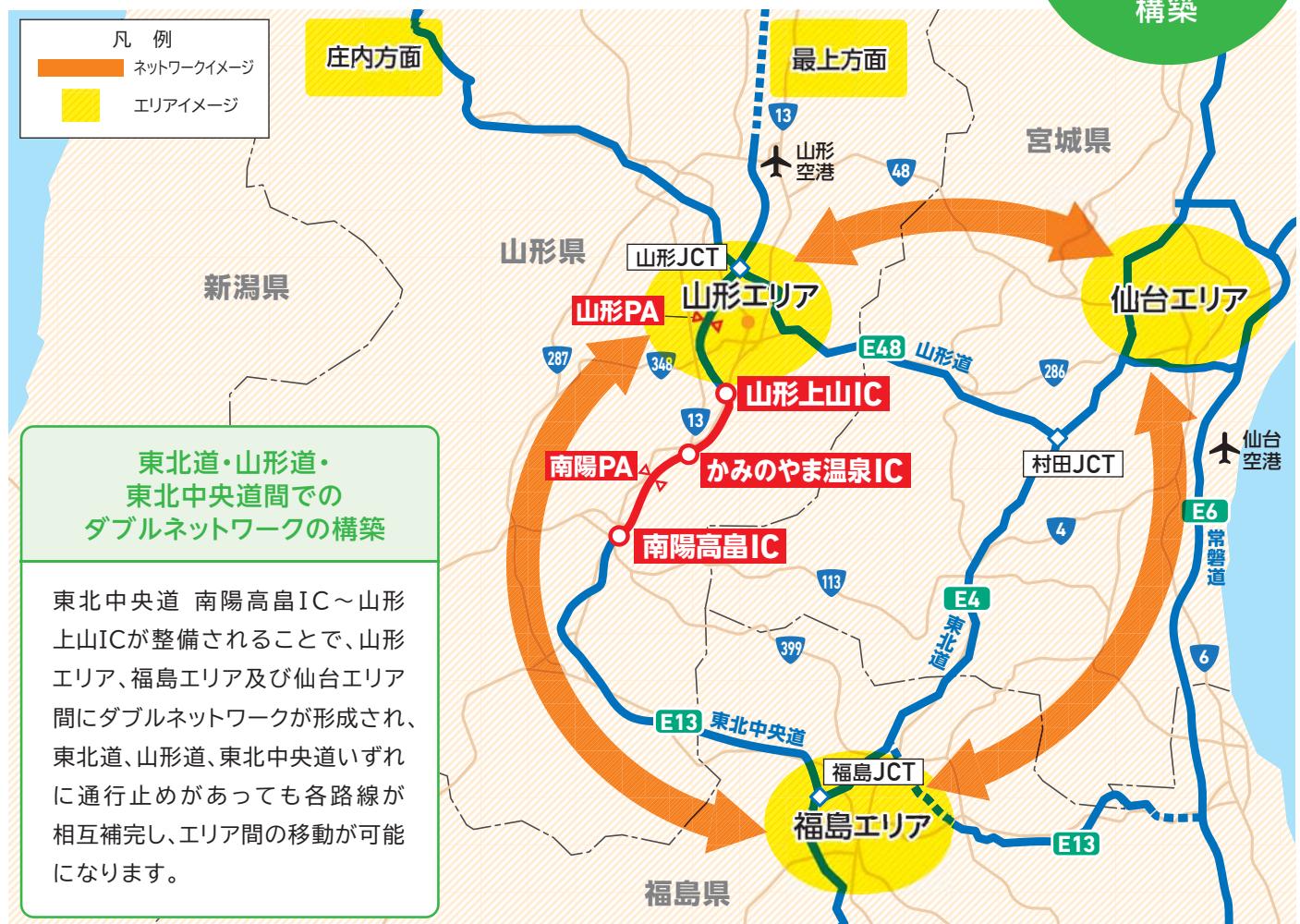
高規格幹線道路のダブルネットワーク構築

南陽高畠IC
↔ 山形上山IC



- 山形エリア、福島エリア及び仙台エリア間に高規格幹線道路のダブルネットワークを構築。
- 山形道の通行止め時においては、山形エリアをはじめ庄内方面や最上方面への代替路として機能します。

山形・福島 仙台エリアの ダブル ネットワークの 構築



整備効果③

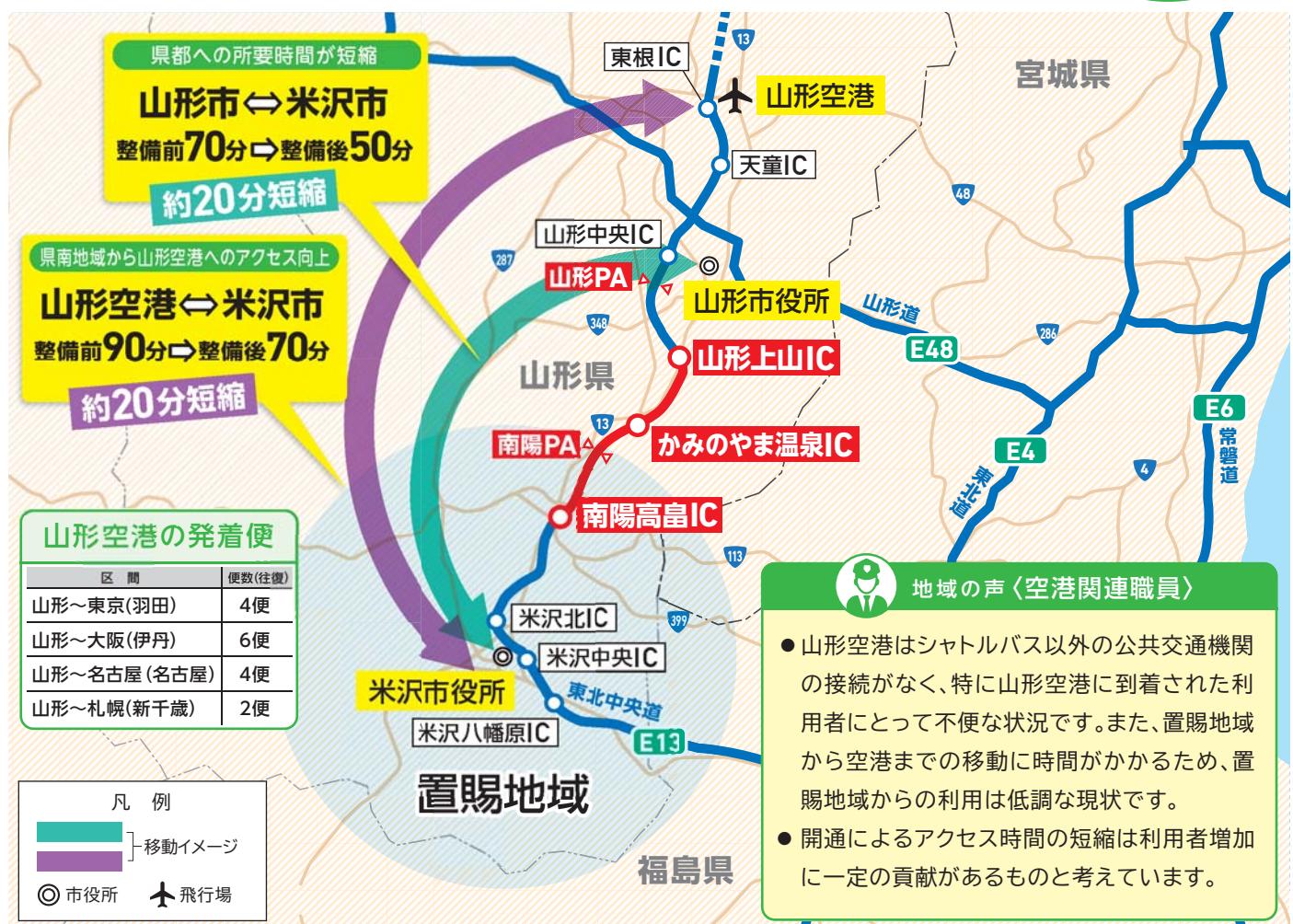
所要時間の短縮

南陽高畠IC
↔ 山形上山IC



南陽高畠IC～
山形上山IC間の
開通により
約20分の時間
短縮効果

■ 東北中央道の整備により山形市～米沢市間の所要時間が短縮され、
米沢市方面から山形空港までのアクセスが向上します。





- 東北中央道の整備により、三次医療施設までの所要時間が短縮し、15分圏域の空白地帯であったかみのやま温泉IC周辺についてもカバーされます。
- 冬場の降雪時においては一般道と比較し安静に搬送することが可能となります。

高次医療施設への運搬ルートとして利便性の向上



東北中央道沿線には3箇所の三次救急医療施設があり、それらの施設への搬送ルートとしての役割を果たします。

なかでも、山形大学医学部附属病院、置賜総合病院は、当該路線に近接しており、医療カバー圏の拡大が見込まれます。

また、複数の三次救急医療施設の選択が可能になり、特に冬場の降雪時等は、一般道と比べて安静搬送することが可能であるため、搬送ルートとしての利用が期待されています。



地域の声〈上山市消防本部〉

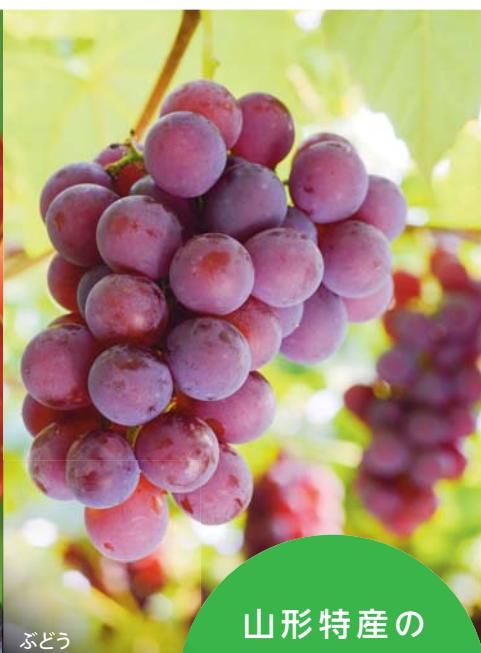
- 高速道路では信号による停止が無く大きなカーブが少ないため、搬送される傷病者の負担が軽減します。特に降雪時の安静搬送には効果が期待され、走行中に処置を行う救急隊員の安全・確実性も向上します。
- アクセス向上により搬送時間が短縮され置賜地域を含む病院への手配の選択肢が増えます。



整備効果⑤

物流効率化の支援

南陽高畠IC
↔ 山形上山IC



ラ・フランス

さくらんぼ

ぶどう

山形特産の
果実の
安定的な輸送に
寄与

- 山形県は、ラ・フランス、さくらんぼの出荷量が全国1位、ぶどうの出荷量が全国3位。
- 東北中央道の整備により、輸送時間の短縮や輸送時における荷痛みの軽減により、農産物の物流の効率化が期待されます。

主な農産物と収穫量 (山形県 ※H29年度データ)



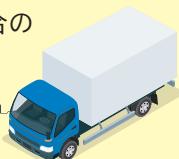
凡 例

首都圏ルート



地域の声〈農協関連職員〉

- ・東北中央道の開通により、県内から福島・関東圏方面への輸送時間の安定と、ドライバーの負担軽減が期待されます。また、福島・関東圏方面への輸送が山形道と東北中央道の2つのルートになり、通行障害が発生した場合の迂回ルートが確保されることで延着回避が期待されます。
- ・運送時の赤信号による停止回数の減少や、蛇行回数の減少により、荷痛みの軽減が期待されます。
- ・アクセス向上により県内外からの直販店への集客アップも期待されます。



整備効果⑥

広域的な交流・連携強化

南陽高畠IC
↔ 山形上山IC



赤湯温泉



亀岡文殊



山形県内の
著名な
観光地への
アクセス向上

- 東北中央道周辺には、温泉地をはじめ全国的に著名な観光地が立地しています。
- 東北中央道の整備により、観光地間のアクセス利便性が向上し県外観光客の增加が期待されるとともに、周遊観光の利便性向上による県内観光客の増加等、広域的な観光促進が期待されます。

H27～29年度の観光者数の内訳

| | 県内 | 県外 | 0 | 200 | 400 | 600 | 800 | 1000(千人) |
|-----------|-----|-------|---|-----|-----|-----|-----|----------|
| 蔵王温泉 | H27 | 364.6 | | | | | | 541.1 |
| 蔵王温泉 | H28 | 395.9 | | | | | | 598.2 |
| 蔵王温泉 | H29 | 403.2 | | | | | | 603.9 |
| かみのやま温泉 | H27 | 288.8 | | | | | | 433.3 |
| かみのやま温泉 | H28 | 262.2 | | | | | | 393.5 |
| かみのやま温泉 | H29 | 260.4 | | | | | | 390.2 |
| 赤湯温泉 | H27 | 254.1 | | | | | | 168.9 |
| 赤湯温泉 | H28 | 219.2 | | | | | | 146.1 |
| 赤湯温泉 | H29 | 208.8 | | | | | | 139.3 |
| 亀岡文殊 | H27 | 151.1 | | | | | | 198.9 |
| 亀岡文殊 | H28 | 146.5 | | | | | | 197.5 |
| 亀岡文殊 | H29 | 134.4 | | | | | | 176.1 |
| 山形県観光物産会館 | H27 | 104.1 | | | | | | 243.1 |
| 山形県観光物産会館 | H28 | 235.6 | | | | | | 549.5 |
| 山形県観光物産会館 | H29 | 238.7 | | | | | | 557.1 |



整備効果⑦

地域産業の支援・地域の活性化

南陽高畠IC
↔山形上山IC



- 既に供用している山形上山IC、南陽高畠ICの周辺地域においては東北中央道へのアクセスの良さから工業団地の分譲率が高い状況にあります。
- 東北中央道の整備による関東方面へのアクセス向上により、さらなる地域産業の活性化が期待されます。

地域産業の
支援
地域の活性化に
寄与



沿線の主な工業団地の整備状況

| 名称 | 用地面積 (千m ²) | 分譲率 (%) | 事業主体 |
|-----------|----------------------------|------------|-------------|
| 山形市蔵王産業団地 | 341 | 100 | 山形市土地開発公社 |
| 山形西部工業団地 | 504 | 100 | (財) 山形市開発公社 |
| 蔵王みはらしの丘 | 307 | 100 | (独) 都市再生機構 |
| 蔵王の森工業団地 | 154 | 100 | 上山市 |
| 南陽西工業団地 | 209 | 100 | 南陽市土地開発公社 |

※用地面積150千m²以上



地域の声〈企業誘致関連職員〉

- ・関東圏へのアクセス向上により、さらなる企業進出が期待されます。
- ・東北道・山形道・東北中央道間でのダブルネットワーク構築により、太平洋側に立地する企業とのさらなる取引拡大が期待されます。

